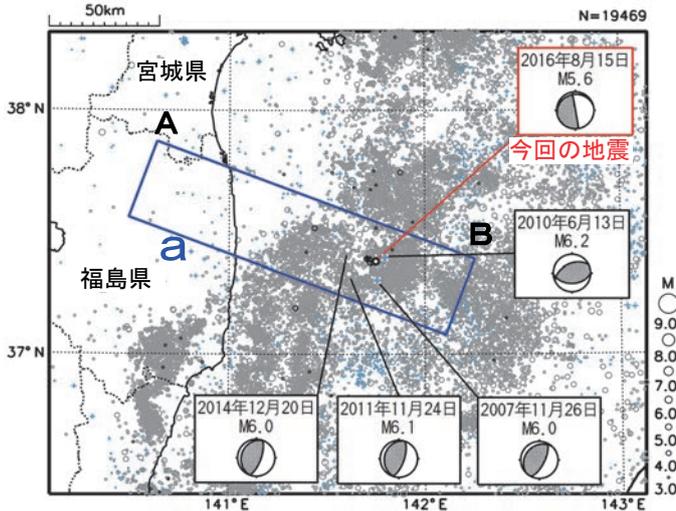


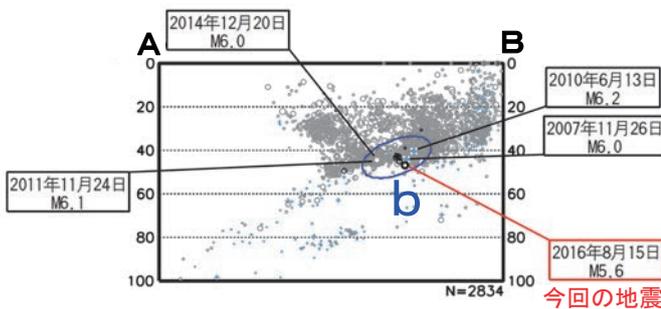
8 月 15 日 福島県沖の地震

震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2016 年 8 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解

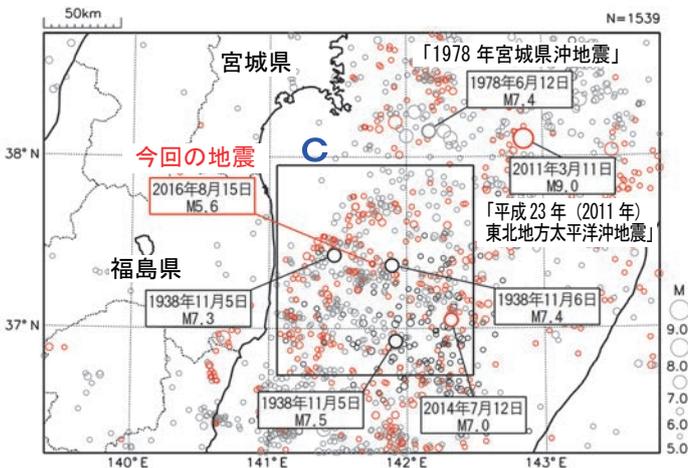


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011 年 3 月 11 日以降の地震を赤く、1938 年の地震を濃く表示

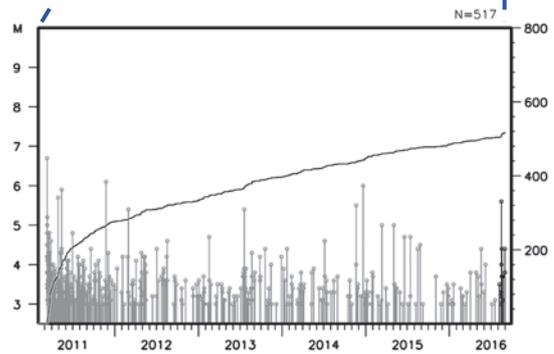
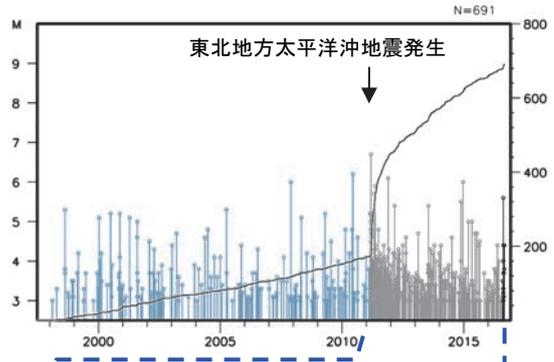


2016 年 8 月 15 日 16 時 04 分に福島県沖で M5.6 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は、東西方向に圧力軸を持つ型である。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震がしばしば発生しており、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」発生以降は地震活動が活発化した。その後は次第に地震活動が低下したものの、この地震の発生後、ややとまった活動があった。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日に M7.5 の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 9 人などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花湍で 113 cm (全振幅) の津波が観測された (「日本被害地震総覧」による)。この地震の発生以降、広い範囲で M7 程度の地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

